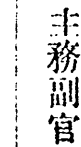




軍事課 砲兵課
主計課 衣糧課 連帶

番受 領號 肆第 二九四號		件名 現役輜重輸卒繰上ノ歸休ノ件		廳名 第一師團	
大臣 		次官 		高級副官 	
參事官		主務副官 		主計 	
裁決		主務局長 		主務課長 	
主務局長 		主務課長 		主務課員 	
聯帶局長 		聯帶課長 		審案筆記者 	
主務局 大正二年二月廿八日		課 大正八年五月八日		大正 大正	
房官臣大 了結領受 大正		出提領受 大正		號番 大正	

達案

近衛第一乃至第十八師團司令部

(第五第八師團ハ留守部經由)

陸晉第 號

毎年八月三十一日ニ於テ除隊スヘキ現役輜重
輸卒ハ八月三十日ニ歸休退營セシムヘシ

陸軍省 陸晉第 七三七 號

三月十日

理由

八月三十一日ハ天長節ニシテ觀兵式ヲ舉行セラルル
ヲ以テ今日歸休退營セラルルハ實施困難ナルニ依ル

陸

軍

官部 徵第二三 號

乙九四

三月廿日

第四第一九號
第四四號
吉田

軍件四七号

經三月六日

第三期入營輸卒除隊日繰上ケ度件上申

大正二年二月十九日 第一師團長 一戸 兵衛

陸軍大臣 男爵 少貳 安部 敬毅

毎年六月一日入營、第三期輸卒ノ除隊ハ八

月三十一日ニ候處、本年ヨリハ前記輸卒ノ除隊

日即ケ八月三十一日ニ長節ニ相當ニ聊カ不都合ノ感有

上申ノ通詮議スルヲ可トスル意見

砲兵課

除隊スルヲニ詮議

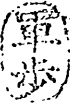
三月三日、輜重兵監部 七 當課

意見ニ同意ス

卒ノ満期退營ヲ行フニ甚

9180

4180



官部 徵第一二三

乙九四

三月廿日

第四四號

吉田

三月六日

第三期入營輸卒除隊日繰上度件上申

大正二年二月十九日 第一師團長 一戸 兵衛

陸軍大臣 男爵 少貳 安部 毅

毎年六月一日入營第三期輸卒ノ除隊ハ八

月三十一日ニ候處本年ヨリハ前記輸卒ノ除隊

日即ケ八月三十一日ハ天長節ニ相當ニ聊カ不都合ノ感有

之候ニ付一日繰上ケ八月三十日ニ於テ除隊スルコトニ詮議

相成度左ニ理由ヲ附シ及上申候也

理由

一八月三十日親兵式當日ヲ以テ輸卒ノ満期退營ヲ行フハ甚

夕因難ナリ何トナレハ當日着用スル所ノ被服ヲ引揚ケ
 之レカ返納ス旅費給料ヲ支給スル爲ニハ如何ニ朝早ク
 施行スルモ觀兵式參列ノタメ出發マデハ恐ラク実施ヲ
 終ルコト難カラシ強テ之レヲ爲スモ甚ク根柢ヲ生スルノ虞
 アリ

二月三十日滿期除隊ヲ行フトモ大隊ハ翌一日更ニ入營
 輸卒ノ準備ヲモ同時ニ行ハサル可カラズ然ルハ自然觀兵
 式參列人員モ減少スルノミナラズ當日ハ祝日ノ日ナルモ拘
 ハラス多クノモノ、外出ヲモ差止ムルニ至ル
 三月八月ハ大ノ月ナルヲ以テ一日早ク退營セシムルモ教育上何等
 支障ヲ生スルコトナシ

以上ノ理由ヨリ毎年八月ニ於テハ勲卒ノ退官ヲ五十日トセハ
 其日ニ於テ前後勲卒ノ退官ノ事項ヲ繰上テ整
 頓ヲ計リ多クハ將校以下當日ハ名簿見祝目ヲ完全
 ニ迎フコト得ル利アリ